

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	現代こども学科	科 目
-----------	---------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

一昨年度、2014 年度春学期の授業アンケート結果を踏まえ、Q4「授業時間外の学習に 1 週あたりどれくらいの時間を費やしましたか。」について、グループ発表の準備としての話し合い、レジュメ作成、作品制作、学校や幼稚園・保育所等での子どもとの関わりなども授業時間外学習に含めるよう、アンケートの回答の実施時に説明するように心掛けた結果、昨年度から改善が見られ、今回の結果も 0.78 と、全学平均の 0.69 を有意に上回る結果となった。

Q7「シラバスとの合致」が 4.21 と全学平均の 4.25 を有意に下回ったのを除いて、これ以外の 8 項目においては、全学平均を上回る結果となっている。これは教育実習や介護等体験で授業を公欠する学生が年によって異なるため、各教員はシラバスを多少変更しながら柔軟に授業を行っているためである。

昨年度と比較した場合、Q4・5・10 において改善が見られた。また、Q2 が横ばいであった一方、Q1・3・6・7・8 において平均値が下がったが、減少幅は微少であり、誤差範囲と考えることも可能である。

Q10 の DWCLA10 については、想像力・プレゼンテーション力・リーダーシップの 3 項目が昨年度より低下したものの、10 項目すべてにおいて全学平均を上回っている。特に、自己管理力に関しては、昨年度は全学平均を下回っていたが、今年度は上回る結果となっている。

このように、今年度の授業アンケートの結果は、Q7 のような制度上の問題もあるがおおむね良好であった。今後は個々の教員の研鑽と努力によってさらに授業のレベルを上げ、アクティブラーニングの推進と合わせて学力を向上させていくために、学科としては教員に FD 意識の向上を促し、FD 研鑽のための環境を整えるのによりいっそうの工夫が求められている。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター